

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	▼	電話	042(769)8243
担当部課名	環境保全部	▼	公園	課
事務事業名	公園等維持管理費及び補修費		管理	係
			事業コード	24310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	美しいまちなみと良好な居住環境を創造します	事業開始年度
基本施策名	第3節	身近な生活圏のみどり・公園の整備	~63
施策名	第1施策	身近な公園の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

都市公園法	相模原市都市公園条例
-------	------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市民にうるおいと憩い、安らぎを与えるオープンスペースとして、また、地域のコミュニティ形成の場や災害時の一時避難地等、多様な活動の拠点となる街区公園を、適正かつ効果的に管理し、より一層の利用促進を図ることを目的とする。		一般市民	
		対象数	611,318
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・効率的な予算執行を行い、維持費の減少に努める。 【13年度未当該予算対象公園数】 街区公園・・・374箇所 近隣公園・・・7箇所(相模大野中央公園除く) 緑道・・・4箇所(横浜水道道緑道含む) 広場公園・・・1箇所 【13年度決算額】 公園等維持管理費・・・178,328千円 公園等維持補修費・・・154,386千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度
		なし	

4 評価指標

指標名	1街区公園あたりの光熱水費の対前年度比5%削減	1街区公園あたりの維持管理費の対前年度比5%削減
指標式	実績 / (前年度光熱水費 / 前年度街区公園数 × 0.95) × 100	実績 / (前年度維持管理費 / 前年度街区公園数 × 0.95) × 100
指標設定の意図	経費節減のため、目標削減率に対し達成率で成果を表す。	経費節減のため、目標削減率に対し達成率で成果を表す。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	95	99	a	100	b	
指標	101	91	c	92	d	
指標			e		f	
事業費	決算(予算)額	186,957	182,715	178,328	177,547	176,097
	人員・時間数	2	2	2	2	2
	人件費	16,840	16,840	16,840	16,840	16,840
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	203,797	199,555	195,168	194,387	192,937
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 95.6%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{99.6}{100.0} \times 100 = 99.6\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{91.6}{100.0} \times 100 = 91.6\%$
理由 : 経費節減を図るため、効率的な運用を行っている。			

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 市民の生活に憩いと潤いを与え、地域のコミュニティ - の場を形成維持するために必要な事業内容である。	
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 最小の経費で最大の効果を目指し、多種・多様・高度化する市民のニーズに適用した運用を行っている現状は妥当と考える。	
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 街区公園については、市民が公園に愛着心・責任感を持つように、清掃・除草等を含めた管理運営の一部について地元住民に委託することが、経費面からも適当と考える。	
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 光熱水費を含めた維持管理費の削減を図るなか、高齢化社会を迎え身近な街区公園の利用は伸びている。苦情件数及び低迷する経済状況から推察すると一部満足できていないと考える。	
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 街区公園の適正な維持管理を行うことにより、お年寄りから子どもまで多くの市民が安心して公園を利用できる当該事業は有効である。	
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 市民と行政と協働による管理体制が整う事により、自分達の公園という意識が芽生え適正な公園利用・維持管理ができる。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 市民と行政と協働による管理体制が整えばコストの減少の可能性はある。光熱水費に関しては、ランニングコストを考えた施設の整備を検討する必要がある。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	横浜市戸塚区において、地域住民とパートナーシップで「舞岡公園を育む会」に運営委託している。(年間委託費1,260万円) 街区公園の清掃・除草を含めた維持管理について、公社・協会等に委託している市もあるが、コスト対満足度 = 費用対効果を考慮すると市民参加に基づくパートナーシップ事業で実施するのが望ましい。	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了	説明	生活に憩いと潤いを与え、地域のコミュニティ - の場として、市民にとって一番身近な街区公園を適正に維持管理するために継続が必要な事業である。限られた財源の中で、市民のニーズに的確に対応した満足度の高い行政サービスの提供には、市民参加が重要なポイントとなっている。今後、維持管理を含めた管理体制についてワークショップ形式等あらゆる市民参加の手法を用いて施策の実施を検討していきたい。	

8 二次評価における変更点

--